

小学校 2年

お祭りの屋台をイメージして問題をつくらう

藤井寺市立藤井寺西小学校

教科

算数科

単元名

かけ算（2）

本時のねらい

- ・グループでのかけ算の問題作りを通して、数量の関係に着目しながら、計算の意味や計算の仕方を考える力を養う。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・前時までに既習事項となっている、ロイロノートの複製・録音する技能の定着を図る。
- ・個人で取り組むことに不安な児童も、グループで取り組むことで心理的ハードルを下げて取り組むことができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノート（複製・録音）

本時の展開

本時で育む主な情報活用能力

D-STEP 1, J-STEP 2
K-STEP 2, C-STEP 1

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (7分)	○前時に取り組んだ、問題作りを振り返る。 ○本時では、お祭りの屋台の問題に取り組むことを確認する。 ○本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。 めあて「おまつりのやたいで問題を作ろう。」	
展開 (35分)	○班で問題を作る商品を決める。【写真1】 →ロイロノートで図を複製する。 ○プリントに問題文、式・答え、説明を記入する。【写真2】 ○ロイロノートに説明文を録音する。【写真3】 ○提出箱に提出する。	○ロイロノートで図（商品の画像）を操作することで、資料の取捨選択が容易にでき、問題作りをスムーズに行うことができる。 ○ロイロノートに図（商品の画像）を整理し配置することで、問題作りの際、思考整理に活用できる。 ○説明を録音する活動を行うことで、文字を書くことが苦手な児童でも安心して活動に取り組むことができたり、問題を解いたりすることができる。 ○説明を録音して提出することで、理解度を把握することができる。（評価を行いやすい）
まとめ (3分)	○振り返りを書く。 ○次時の予告をする。	

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】問題に出す商品の相談



【写真2】友だちと協力して問題づくり



【写真3】自作問題を録音・送信

児童生徒の反応や変容

- ・ロイロノートで画像を使って伝え合うことで、言葉で説明が苦手な児童も安心して発表することができた。
- ・画像や文・録音した音声など、視覚的・聴覚的に配慮した活動にしたことで、文字の認識が苦手な児童でも前向きに取り組むことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・紙を使用した図の切り貼りでは、作業時に時間がかかってしまう。ICTを活用することで、児童一人ひとりがしっかりと「問題づくり」を行う時間が確保できた。
- ・文字を書くことが苦手な児童も、録音機能を活用することで考えを容易に表現できた。
- ・録音機能の活用は、ローマ字入力が難しい低学年にとって効果的だと考える。